

宮城野区高砂第一地区民生委員児童委員協議会

(平成 26 年 10 月)

高砂第一地区民生委員児童委員協議会は、仙台市東部の宮城野区に属し、海岸線からは概ね 4～5 km 内陸にあり、海拔が 4～6m の平坦な田園地帯といくつかの商業地・住宅地・農地が点在する形で形成されています。

当協議会は、25 名（うち主任児童委員 2 名）で構成され、受け持ち世帯の総数は約 8,500 世帯です。

メンバーは、前回（昨年）の改選時に 7 名が代わっており、さらに前々回の改選時にも 6 名が代わっているため、半数以上が経験年数 5 年未満となります。この地区に平成 26 年 7 月に「田子西復興公営住宅」が完成し、被災された方が入居しました。周辺には今後、集団移転・一般販売住宅等を含め、最終的には概ね 800 世帯の居住地区が形成される予定となっています。

そこで、地区社協が発起人となって「田子西復興公営住宅支援者の会」を立ち上げました。復興公営住宅の居住者支援のために、周辺の町内会、民児協、学校などが連携しました。取り組み内容としては、入居者が孤立しないための住民同士の交流、例えば、一日も早く地域になじめるような各種イベント（スイカ祭、復興コンサート、信州そば交流会等）を開催するなど、地区も全ての民生委員が一致協力して取り組んだところです。

イベントの回を重ねるうち、民生委員から「住民の方々とひざを交えての交流会が必要では？」との提案があり、お茶っこサロンを開催しました。

サロン当日は全委員一丸となって対応した結果、入居者の方々の日常生活に関すること、障がい者への支援、さらに高齢者世帯が多いことから、見守りの充実や緊急時の対応等、多岐にわたる意見を聞くことができました。すぐには解決できない問題でも、話をうかがって一緒に悩み、少しでも心が軽くなれるよう寄り添うことの大事さをあらためて実感し、学びました。このサロンは今後も続けていきたいと思っています。

最後になりますが、全国の民生委員・児童委員の皆様から多大なご支援・ご協力をいただきましたことに心から感謝・御礼を申し上げます。ありがとうございました。

